



人と人間 ～「良き仲間」に囲まれる」ということ～

副校長 大曾根 努

梅雨の晴れ間には、真夏を思わせるような太陽の光が降り注いでいます。7月に入り、1学期は残すところ13日となりました。1学年は、学習や部活動にも慣れ様々な場面で頑張っている姿が見られます。2学年は、1学期中準備を重ねてきた職場体験を目前に控えやる気が満ち溢れています。3学年は、学習への取り組みが一層増し進路への自覚が深まってきています。

さて、最近「well-being(ウェルビーイング)」という言葉が耳にすることが多くあります。well-being(ウェルビーイング)とは、「身体的・精神的・社会的に豊かな、良い状態であり、短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義など、将来に渡る持続的な幸福も含むこと」という意味です。自分が幸せであればいいという考えから、周りの人の幸せ、さらには、地域社会や世界の幸せまで願うようになること、誰かの幸せのために誰かが不幸になったり、一瞬の幸せのために何かが犠牲になったりすることではありません。

幸せの考え方については、哲学者、三木 清さんが、著書「人生論ノート」の中で、『何かに成功することが幸福であり、何かに失敗することが不幸だと考えてしまうことが問題』であると言っています。また、都道府県『幸福度』(日本で「幸せだ」と感じながら暮らしている)ランキングを調べてみると、第1位は、沖縄県だそうです。沖縄県は収入では全国で最下位だそうです、お金をもっていること=幸せということではなさそうです。沖縄県が幸福度ナンバーワンにつながる理由は、「なんくるないさー」(なんとかなる)という方言にも表れているように、楽天的な人柄や人間関係で悩む人が極端に少ない傾向があるとのことでした。

このことから、幸せの形が、見えてくるように思います。達成目標を立ててそれを達成すること、人と競って結果を出すことのみが幸せだと考えがちですが、本当に幸せを味わえる環境というのは、実は良き仲間」に囲まれていて、そこに自分が身を置いているだけで楽しくて幸せである状況なのではないでしょうか。

人の間と書いて『人間』、この人間という言葉からも、私たち本当の幸せは、人の間で生きていて、その人たちが皆温かくて、愛情に満ちている、そういう人に囲まれていること、そのような人と出会うことができたなら、それは「幸せ」につながるのだと思います。

どこへ行くかというより、「誰と一緒に行くか」、何を食べるのかというより、「誰と一緒に食べるのか」。同じ方向性と、価値観を持った人と一緒になら、どこへ行こうと何を食べようと、楽しいし、幸せです。良き仲間」に囲まれる、お互いに声をかけ合って気持ちの良い関係づくりをしていくことができる、そんな要素が学校にはたくさん詰まっていると考えています。

夏季休業中は、日常の生活が、学校中心の生活から家庭や地域中心の生活となります。ご家庭や地域で過ごす時間が増え、外出する機会も増えると思います。様々な経験を通して、有意義な夏休みをお過ごしください。

7月の主な予定

1日(月) 生徒会選挙公示日 特別支援学級小学生体験	13日(土) 公開授業③ 土曜授業日 セーフティ教室
2日(火) 専門委員会 夏季教育相談(三者面談) 日程調整メチ	【保護者向け 10:40～11:30】 学校運営協議会
3日(水) ～5日(金) 職場体験(2年)	15日(月) 海の日
4日(木) 身体障がい理解教育(1年)	18日(木) 美化活動(AM)
5日(金) 進路説明会(3年)	19日(金) 終業式 避難訓練(地域班)
8日(月) 評議委員会	22日(月) 夏季休業日始 夏季教育相談(三者面談) 始
10日(水) 安全指導 特別支援学級小学生体験	～8月上旬まで
11日(木) 公開授業①	※19日(金)は、給食はありません。
12日(金) 公開授業② 卒業生のお話を聞く会(3年)	

Ⅰ 組移動教室

6月26日～28日、合同移動教室へ行ってきました。野辺山で登山や飯盒炊爨、田植え、キャンプファイヤーなど、大自然に触れ合い、充実感や達成感に満ち溢れた2泊3日になりました。

「自然に親しもう」「身体をきたえよう」「自分のことは自分でしよう」「みんなと仲良くしよう」この目標に向かって、一人一人が役割を果たし、みんなで協力して楽しい思い出を作ることができました。これからも一致団結して、充実した学校生活を送っていきます。



山登り体験（飯盛山にて）



田植え体験（高根クラインガルデンにて）

合同避難訓練

6月25日（火）

志茂田小学校の家庭科室より出火という想定のもと、小学校、中学校、つばさ蒲田教室、おおたっ子ひろば、福祉センターの5つの隣接する施設合同で避難訓練を行いました。一人一人が自分の身を守る行動を取り、迅速に校庭まで避難をすることができました。

災害はいつ、どこで、何をしているときに起こるかわかりません。避難訓練での動きはあくまで原則であり、有事の際には、状況を見て自分で考えて行動しなくてはなりません。万が一のときにも自分の命は自分で守れるように、日頃から様々なケースを想定した訓練を実施していきます。（担当：鮎沢）

校庭避難時の様子



学校安全衛生委員会

6月は食中毒について内科校医の横山先生からご講話頂きました。気温が上昇するこの時期に気をつけたいのが食中毒です。食中毒の原因として、細菌では黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ菌、サルモネラ菌、ウェルシュ菌など。ウイルスではノロウイルス、自然毒としてフグやジャガイモの芽に含まれるソラニンなどが多いようです。それぞれ対処法は違うようですが、まずは調理前の手洗いやしっかり加熱調理をすることが基本となります。食中毒菌は室温状態（10度～40度）の時、急速に増殖し、腸炎ビブリオ菌などは10分で2倍にまで増えるため、常温での保管は危険です。また、耐熱性の細菌もあるため“加熱したから大丈夫”という過信も禁物のようです。お弁当などは水分から菌が増殖するため、汁気のあるものは避け、生野菜なども水分をふき取る事が大切だそうです。益々、暑くなる時期、食中毒に気を付けながら健康維持のために安全に食品を摂取していきたいものですね。